

吉本氏が初当選 坂本氏の6選阻む

檜原村

5期20年務めた現職と元

部下との一騎打ちで8年ぶりの選挙戦となった檜原村長選は、村の元総務課長で無所属新顔の吉本昂二氏

(70)が、6期目を目指した無所属現職の坂本義次氏(78)＝自民推薦＝を破り、初当選を果たした。

吉本氏は23日夜、村内の選挙事務所で当選確実の報を受け、支持者と握手したり抱き合ったりして喜ん



当選を決め、万歳する吉本昂二氏（中央）＝23日午後9時23分、檜原村

だ。報道陣に「初めての選挙だったけど、地道な活動が実って本当にうれしい。皆さんの村を変えてほしい」という思いが今日の結果につながった」と話した。

選挙戦は、村内に計画されていた産業廃棄物焼却場建設への姿勢が最大の争点となる見込みだったが、告示前に業者が計画を取り下げ、今後の村のあり方を巡って論戦が交わされた。

吉本氏は産業廃棄物焼却場の反対運動を主導した。計画撤回後は坂本村政について「様々な情報が村民に知らされずに密室で決められる現状こそが問題」と指摘。「住民に開かれた新しい村政に変える」とし、対話集会の定期的な開催などを公約した。

坂本氏は森林資源を生かした施設の設置や環境整備などの実績をアピールしたが、及ばなかった。